

令和7年11月 定例教育委員会要点録（公開用）

1. 開催日時 令和7年11月20日(木) 11時00分 ～ 12時05分

2. 場所 高千穂町役場執行部控室

3. 出席者

委員	教育長	戸敷二郎
	委員	佐藤幸男
	委員	戸高牧子
	委員	佐藤有美
	委員	安在直
事務局	教育次長	湯川 哲
	課長補佐	佐藤純子
	主 幹	大石 彰

4. 教育長あいさつ

5. 前回議事録の承認

6. 講話 主 幹 大石 彰

7. 協議

(1) 令和6年度高千穂町教育委員会の自己点検・評価の考察について報告

(2) 10月議会定例会報告(6年度決算・予算補正・一般質問)

(3) その他

8. 12月の行事予定

- 3日(水) 高千穂小学校支援訪問(佐藤有美委員)
- 5日(金) 輝く高千穂まちづくり会議(高千穂中学校3年生)
- 8日(月) 議会定例会本会議(初日 提案理由説明等)
- 10日(水) 議会定例会本会議(総括質疑、一部議案採決)
- 16日(火)17日(水) 議会定例会本会議(一般質問)
- 19日(金) 議会定例会本会議(最終日)
- 22日(月)～25日(木) 南城市青少年交流受入事業
- 23日(火)～26日(金) 長野市戸隠地区交流派遣事業
- 23日(火) 全地区公民館長会
- 24日(水) 小・中学校 2学期終業式
- 26日(金) 仕事納め式

9. 次期開催日程

- 日時 令和7年12月24日(水) 14時00分から
- 場所 高千穂町役場 執行部控室
- 講話 佐藤有美 委員

10. 閉会

【議事録】

次 長	【開会】
教育長	【あいさつ】 略
次 長	【前回議事録の承認】 各委員による確認・署名
主 幹	【講話】 学校部活動の現状と今後の方向性 略
	【協議】
	(1) 令和6年度高千穂町教育委員会の自己点検・評価の考察について報告
次 長	*8月に教育委員に評価をしていただいた結果について、外部評価を前年度に引き続き倉岡豊実先生にお願いした。その結果を報告する。別紙考察により説明。
戸高委員	* 国際化のリテラシーについて触れられていたが、進めていくには難しい面がある。外国からの就労者が増え、各地域に住んでいる。公民館や近所の方々に対して、就労の仲介業者と雇用事業所と一緒に相互理解の場を設ける必要があると思う。田舎は特に、地域のグローバル化が進むことに不安を感じている。行政のサポートをお願いしたい。
次 長	*外国の方との関わりは、移住の方なのか観光の方なのかで違ってくる。現在中学生をメインに観光に来た外国人と英語で交流する事業を進める計画があり、事務所用の物件を借りたところである。
教育長	*ビジネスホテル前の物件を賃貸した。キャリア教育コーディネーターの押方先生が小学生から高校生を繋いで実施する事業を計画している。外国の方への案内や交流に加え、文化伝承の学習の場として、地域の方々や地元事業所・企業と子ども達の交流の場として活用していく。大人たちが、どう関わられるかをプログラムに盛り込み、それを小・中・高校に提示できるまで整えば、進んでいく事業と考える。
戸高委員	* 先日、世界農業遺産認定10周年記念事業が高千穂で行われ、県知事も参加していた。夜神楽は奉仕者を含め継続が難しくなってきたと聞く。行政からの支援、補助金などが必要だと思う。神楽宿になると4日間ほど手間がとられるという。子ども達の伝承の環境を整えることも大事と考える。
次 長	* 後継者育成補助金は教育委員会から神楽保存会に助成している。地区の夜神楽自体に補助をすることは、神楽には宗教的な側面もある事から、行政の直接補助は難しい面がある。一方で、観光協会が夜神楽や神楽宿への支援を増やしている。
	(2) 10月議会定例会報告(6年度決算・予算補正・一般質問)
次 長	* 令和6年度決算について、内容は以前の定例会で説明しているので、金額だけ報告する。歳入は25,660,278円、歳出が584,430,787円で議会の承認を受けた。付帯意見は、「公共施設の改修については計画的に行い、施設機能の維持に努めること」、「コミュニティセンターなどの公共施設については、利用状況を分析し、必要に応じて時間短縮や開館日の設定をし、運営経費の削減を検討すること」の2件であった。
次 長	*続いて、可決された補正予算を報告する。就学支援委員会事業費で言語聴覚士派遣費用、学校管理費で上野小学校武道場の雨漏り改修と高千穂中学校修繕料、学校給食費で中学校給食室のガス給湯器・消毒保管庫・冷蔵庫の修繕とパネルの設置費、文化財保存費で高千穂神社火災警報器修繕、体育施設管理費で総合公園テニスコート横トイレの修繕と武道館玄関の壁画撤去費である。

- 次 長 *次に、教育委員会関係の一般質問について報告する。
田中議員からの質問「学校建設に関するアンケートの実施について」に対しては、「年内を目途に準備している」と回答。
市野議員からの質問「中学校移転について資金の少ない方法で早期に安全な場所の選択を」に対しては、「保護者説明会で同様に意見をいただき、町の考えも同じである。費用については、不必要な支出はしないが、学校建設は必要な支出である」と回答。
「情報発信をしっかりと」に対しては、「丁寧な情報発信に努める」と回答。
「高校の一部に移転しては」に対して「県からは、検討はできるが時間も必要と回答があった。調整事項が多く、高校にない施設、例えば技術室や給食室は作る必要がある。必要な部屋に対し空き教室が不足する。短期の完成は難しい。高校校舎は古く、改修が必要になってくるがその費用に町負担が発生する。何より、小中連携が町教育ビジョンである」と回答。
板倉議員からの質問「中学校の移転場所を再検討しては」に対して、「当初、検討委員会で提示できていなかった総事業費と遺跡調査期間の変更などを踏まえ、検討委員会で再度伺いたい」と回答。
「近く9クラスから6クラスに減少見込みならば、当初建設教室数を6クラスにしては」に対して、「令和16年に、2.2.2の6クラスになる予測ではあるが、空き教室は少人数クラスや特別支援に使用する計画である。部屋数が減れば費用も減になるが、補助金も減になる。しかし、検討の余地はあるので、基本設計で慎重に検討していく」と回答。
「減らす3クラスについて、プレハブでの対応、高校空き教室を利用、あるいは現中学校の教室を利用しては」に対して、「高校は、調整事項が多く、また中学生の心理的負担を考慮する必要がある。プレハブは検討の余地がある。現中学校教室は、1学年だけ離れた場所で古い校舎というのはいかがなものか。高校空き教室にせよ、中学校教室にせよ、安全管理も2か所必要となり、学校行事や部活動への参加、給食の配送や先生方の移動などを考えると現実的ではない。」と回答。
「現在の1年生校舎をプレハブで安全な場所に移しては」に対しては、「保護者説明会でも同様の意見をもらっており、現在担当者が検討中で見積もり依頼中」と回答。
「現中学校の改修必要場所の早急な対応」に対し、「修繕箇所が多く、優先順位を付けて実施。特別教室の雨漏り・体育館周りの漏水・プールポンプ・エアコン修理を実施。トイレ修繕やガス給湯修繕を予算計上した」と回答。
- 次 長 佐藤さつき議員からの質問「中学校建設はいつから」に対して、「各方面に理解いただくため、時間を要しているが早期検討・移転に努める」と回答。
「学習環境の整備は」に対して、「WiFiは改善し、特別教室にエアコンを設置、トイレ改修や雨漏り修繕等を順次行っている。」と回答。
佐藤春男議員からの質問「町内学校での盗撮等の案件は」に対しては、「案件はない。各学校には国・県からの通達を基に指導している。町の指導としては、スマホでの撮影禁止、個人的連絡の禁止、個室で1対1にならない事など指導・通達している。「いじめや暴力事件については」に対しては、「いじめについて毎月いじめアンケートを実施している。現在、小学校が25件報告があり、16件が解消済み。残りも解消の方向。内容的には、あだ名で呼ばれる、言い争い等で重大案件はなし。中学校は0件。高千穂中学校は、宮崎県いじめ問題子どもサミットでの発表が評価され、県代表として全国大会に出場する。」と回答。
- (3)その他
- 戸高委員 *世界農業遺産認定の10周年記念式典があり、若者や高校生が参加していた。田舎で子ども達に豊かで健康に育ってほしい。世界農業遺産について、もっと子ども達に発信できるとよいと感じた。神楽の継承にも繋がると思う。
- 補 佐 *世界青少年「志」プレゼンテーション大会に高千穂中学校3年佐藤樹規さんが出場する。「高千穂牛を世界へ届ける」発表である。11月30日は、役場をパブリックビューイング会場として応援する。
- 次 長 *12月議会に戸高牧子委員の再任について、議案提出をする。

【次回の日程を確認して閉会】